

02

将来像を考えるとときの視点

買物公園エリア未来ビジョンの将来像を考える上で、これまでの経緯の整理や課題分析を行いました。

本章では、将来像を考えるとときの視点について説明します。



03

目指す将来像と
取組イメージ

04

ゾーンごとの
将来イメージ

05

推進体制

06

実現に向けた
進め方

買物公園エリアの特徴は？

歩行者専用道路として50年以上の歴史を持つ買物公園があり、昔から続くものや新しいものが共存する「旭川の顔」ともいえるエリアです。

商業施設、専門店、飲食店やオフィスも集積しているほか、様々な娯楽を楽しめる、ゆったりとくつろげる空間として、みなさんに親しまれ続けています。

まち＝買物公園エリア

- ≫ 「まち＝買物公園エリア」として親しまれ、旭川を中心として広く認知されています

使える公共空間

- ≫ 買物公園エリアを利用したイベントが多数開催されています
- ≫ テラスセットが立ち並びます

繁華街や飲食店

- ≫ 道北最大の繁華街「さんろく街」や、ふらっと立ち寄りたくなる飲食店小路には店舗がたくさん建ち並んでいます
- ≫ 新規事業者のチャレンジを受け入れる旭川はれて屋台村もあります

多様な世代が楽しめる施設

- ≫ もりもりパークやICTパークなど子どもや若者が楽しめる施設があります
- ≫ まちなかぶんか小屋といった文化でつながれる施設があります

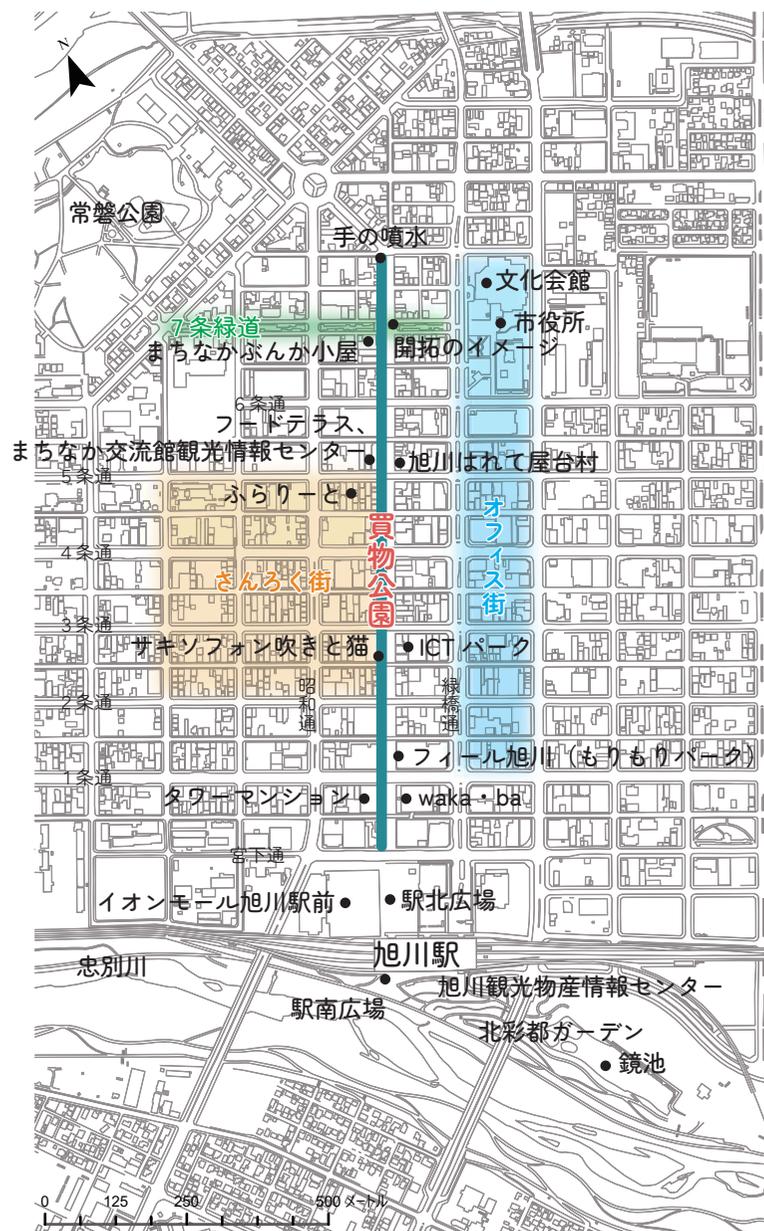
オフィス街

- ≫ オフィスビルや市役所等の施設が建ち並んでいます

アート・みどりを感ずる空間

- ≫ 駅の南側に出ると川が流れ、豊かなみどりが広がっています
- ≫ いくつかの彫刻像が並んでいて、歩きながらアートを楽しめます
- ≫ 市役所と常磐公園を結ぶ豊かな並木道・7条緑道があります

特性・資源 MAP



02 将来像を考えたときの視点



03

目指す将来像と
取組イメージ

04

ゾーンごとの
将来イメージ

05

推進体制

06

実現に向けた
進め方

買物公園エリアの歴史



1890年：開村

1898年：旭川駅が開業

1901年：第七師団移駐 旭川駅から第七師団へと続く道は、「師団通」と呼ばれました。

1902年：旭川町制施行

1912年：常磐公園開園

1922年：旭川市制施行

1945年：師団通から平和通へ

1969年：社会実験の実施

8月に12日間の車両通行止が許可され、当時としては画期的な社会実験が実施されました。

2002年：買物公園リニューアル

リニューアル工事を経て、両側にロードヒーティングが施され、花壇や遊具などが撤去されるとともに、S字道路が直線になり、イベントで人が集まりやすい現在の姿になりました。

1972年：日本で初めての恒久的歩行者専用道路として、平和通買物公園誕生

交通事故の多さや札幌商圏拡大に対応するため、「車社会からの開放」と「自然との対話」による「人間性の回復」を目的として、恒久的な歩行者専用道路となりました。

2011年：4代目旭川駅舎開業

2022年：平和通買物公園50周年、市制施行100年

2024年：未来ビジョン策定

02 将来像を考えるとときの視点



03

目指す将来像と
取組イメージ

全国に先駆け進む「ウォーカブルなまち」旭川



04

ゾーンごとの
将来イメージ

恒久的な歩行者専用道路である買物公園

買物公園は今から約50年前に誕生した**全国初の恒久的な歩行者専用道路**です。市と地元商店街が密に連携を図り、様々な人の力による社会実験を経て、車中心の道から「人のための道」が実現しました。

先進的な取組でまちづくりを進めてきた買物公園エリアですが、社会情勢の変化やまちづくりの課題を踏まえ、**この先のあるべき姿を考える機会が今来ています。**



出典：わたしたちの買物公園 旭川平和通買物公園の50年のあゆみ

当時の社会実験の様子

05

推進体制

06

実現に向けた
進め方

ちなみに、他の地域では？

国では“WE DO※”に賛同する都市を「ウォーカブル推進都市」として募集し、国内外の先進事例の情報共有や今後の政策づくりに向けた意見交換を行うことで、全国で「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成を目指した取組を進めています。2024年2月末現在で370都市が賛同していて、旭川市もその一員です。

※WE DOは『Walkble Eyelevel Diversity Open』の略称であり、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」づくりのキーワードとして、2019年6月に国土交通省開催の「都市の多様性とイノベーションの創出に関する懇談会」において、示されたものです。

02 将来像を考えたときの視点

03 目指す将来像と
取組イメージ

買物公園に訪れる人たちの声から見える課題

訪れた時の印象

「歩きやすい」歩行空間となっているが、
沿道・周辺に存在する**魅力的な個人店**
や**スポットの情報**があまり知られていない。

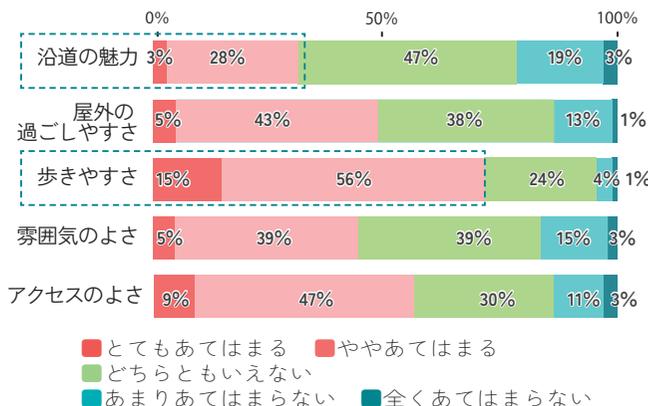
来街時の移動手段

エリアに「よく訪れる」人は公共交通利用
者が多く、移動手段が、来街機会や立ち寄
りの頻度に影響している。

訪れるタイミング

買物公園に訪れるタイミングは、「**駅やその
周辺に来た時に寄る**」ことが4割と最も多
い。若年層は「**通勤・通学の通り道で立ち
寄る**」や「**散歩する場、遊び場などとして
いる**」が他の世代と比べて割合が多い。

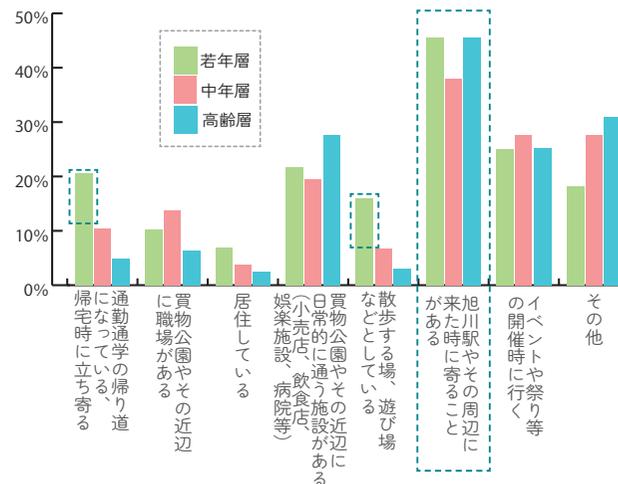
◆買物公園エリアを訪れたときに感じた印象
(旭川市・周辺8町 / 全年齢) n=638



出典：買物公園来街者を対象とした web アンケート調査

◆買物公園エリアへ訪れるタイミング
(旭川市・周辺8町 / 全年齢)

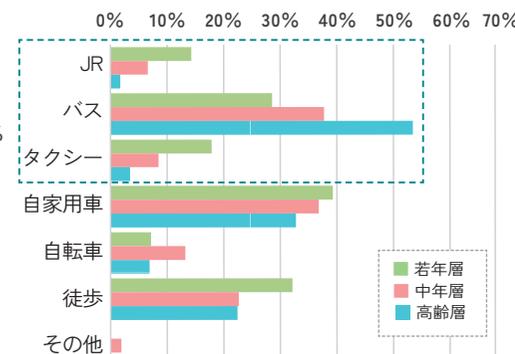
若年層：n=88 / 中年層：n=343 / 高齢層：n=207



出典：買物公園来街者を対象とした web アンケート調査

◆買物公園エリアに「よく訪れる」人の
来場時の移動手段

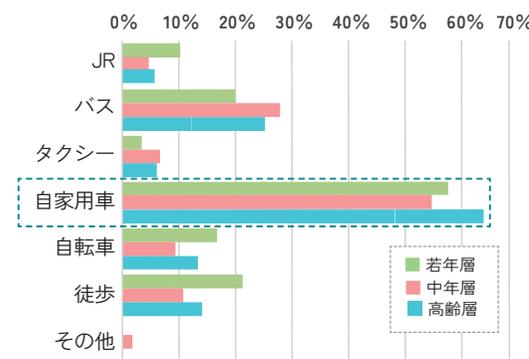
若年層：n=28 / 中年層：n=106 / 高齢層：n=58



出典：買物公園来街者を対象とした web アンケート調査

◆買物公園エリアに「たまに訪れる」人の
来場時の移動手段

若年層：n=60 / 中年層：n=237 / 高齢層：n=149



出典：買物公園来街者を対象とした web アンケート調査

04 ゾーンごとの
将来イメージ

05 推進体制

06 実現に向けた
進め方

02 将来像を考えたときの視点



03 目指す将来像と
取組イメージ

04 ソーンごとの
将来イメージ

05 推進体制

06 実現に向けた
進め方



買物公園エリアのまちの状況から見える課題

沿道建物 1F (グランドレベル) の実態

買物公園の沿道に面する駐車場・空き店舗は道路延長の約3割を占めているとともに、エリア全体に点在しており、沿道の魅力の評価は高くない。

買物公園の利活用方法・場所

利用申請先が多く、手間がかかり、何ができるか、どこを活用できるのか分からない。新規のイベントや取組も実施しにくい。

買物公園の使われ方

かつては見られた学生や子どもの滞在や活動が駅周辺に集中している。子育て世代向けの設備も少ない。

◆買物公園エリア沿道建物 1F の実態



凡例：1階実態

- 空きテナント、空きビル
- 解体・解体中
- P 駐車場
- 建設中

◆沿道に対する延長距離

買物公園沿道	未利用地延長 A	道路延長 B	買物公園延長 C	未利用地が面する割合 A/(C-B)
東側	293m	248m	1,045m	37%
西側	222m			28%
東側・西側	515m	上記×2	上記×2	32%

出典：2023 年度 8 月末時点調査結果

◆買物公園エリアでのフィールドワーク



フィールドワーク時の意見

新規のイベントがやりにくい...

授乳室がないなあ...

02 将来像を考えたときの視点

03

目指す将来像と
取組イメージ

04

ゾーンごとの
将来イメージ

05

推進体制

06

実現に向けた
進め方



買物公園エリア内の人々の動きから見える課題

移動軌跡

エリア内の回遊状況を見ると、**駅前エリア**の滞在者は移動の広がりが少なく、他の滞在者も**隣あう街区**までの回遊に留まる傾向にある。特に駅前では、隣接する街区に留まる傾向が強い。

滞在時間

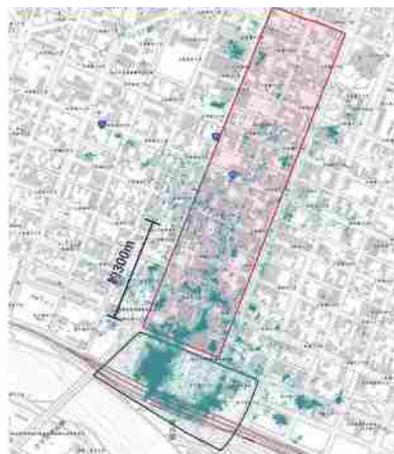
来訪者の滞在時間は、4条以北・以南ともに、**1時間未満が約6割**を占めている。

通行量

エリア内の通行量を見ると、イベントを除き、**4・6条では冬季に減少**する。ただし、駅に近い断面では**夏と冬で差はあまりない**。

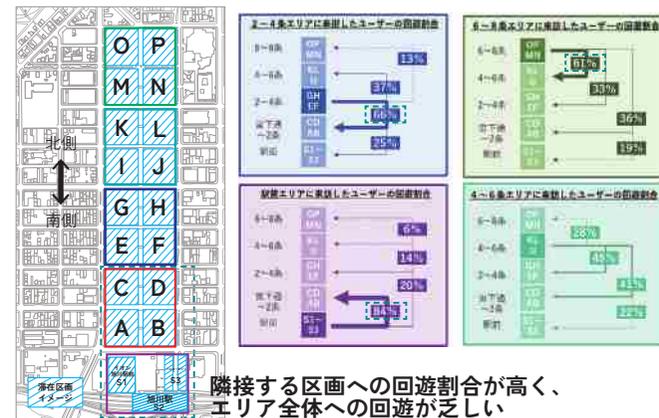
◆ 駅前エリア滞在者の移動軌跡

2022.7 全日の位置情報 (989,858 ログ)
※ 滞在時間が10分～5時間未満が対象



◆ 買物公園エリアにおける回遊割合

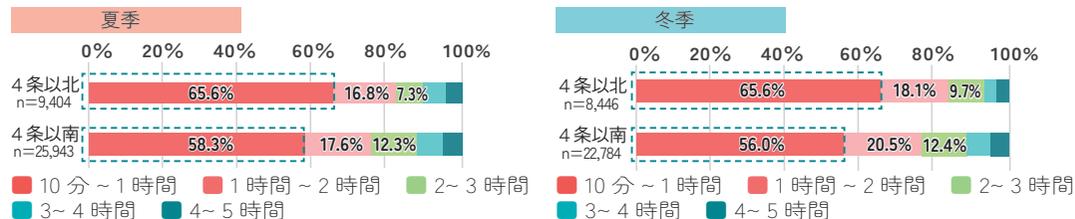
※ 合計3つ以上の区画を回遊するトリップを集計対象とした。
※ 5区画を回遊するトリップでは、サンプル数が少なくなるため4区画の回遊するトリップについて集計を行っている。



隣接する区画への回遊割合が高く、エリア全体への回遊が乏しい

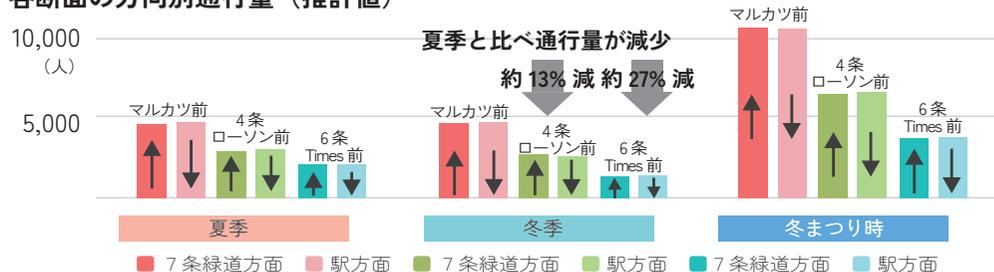
◆ 1回の来街での滞在時間割合 (4条通以南・以北別)

※ 日平均、かつ滞在時間が10分から5時間未満の割合のみ記載
※ 来街者の合計滞在時間を総滞在回数で除した平均滞在時間を集計



(夏季)2022年度7月、(冬季)2023年度2月 携帯電話位置情報データをもとに推計を実施

◆ 各断面の方向別通行量 (推計値)



(夏季)2022年度7月、(冬季)2023年度2月 携帯電話位置情報データをもとに推計を実施